

でとうございます



賀正

「『超・過疎化力と郷土愛』をまちづくり」

積丹町長 松井秀紀

明けましておめでとうございます。

平成30年の新しい年を町民の皆さんと元気で迎えることができたことを、大変嬉しく思います。

人口の減少や町の活気など多くの課題と将来を案じながらも、町民の皆さん一人ひとりが、誰よりも郷土「積丹町」を愛し、町民の融和を大切に、そして『私の願い』にいつも真剣に耳を傾けながら励ましの声をかけていただいております。

そうした町民の皆さんの深いご理解とご協力、温かいご支援に心から感謝とお礼を申し上げます。

昨年は、美国川改修の最大の難関「美国橋架替工事」が完成し、また、10数年ぶりのイカ漁の豊漁で、美国漁港や街中には、青森県など多くの外来船の人々との嬉しい出会いの姿がありました。そしてまた、積丹町誕生60年の歴史の中で培われた町民の皆さんや産業経済教育文化団体など郷土を愛する皆さんの様々なまちづくり活動のひたむきな努力の歩みが、高く評価された三つの出来事がありました。

一つ目は、7月に「積丹ブルー」青の神秘に迫る「NHK夜9時のニュース特集番組で全国放送」

二つ目は、8月に神威岬灯台が全国31箇所「恋する灯台のまち」の一つに認定。

三つ目は、11月に積丹町の移住定住PR短編映画

「超・過疎化力」少なさは、贅沢「シャコタン」が、日本映画連アワード2017受賞です。

これらは、今後の当町にとって、国内外からの力強い応援の力に繋がるものと信じています。

新しく迎えた平成30年は、政府の経済再生による少子高齢化時代の「社会保障制度改革と財政再建の両立」、「我国の防衛」という難しい課題に、国民と地方に新たな負担と協力を求めるとしており、特に、全国の小規模な自治体にとって、厳しい行財政運営の再来が予想されます。

我町にとりましても、防災対策や高齢者、子育て、地方創生、特別会計の改善対策など数多くの懸案課題の一つひとつの克服に、町をあげて取り組んでいかなければなりません。

私は、町民の皆さんのご理解とご協力をいただき、そして国や道、民間機関や多くの積丹ファンの方々との信頼関係を大切にしながら、議員の皆さんと英知を結集し、町民の皆さんの融和と郷土愛を育む力を合わせて、「ふるさと積丹のまちづくり」に弛まぬ努力を続けてまいりたいと思います。

『神威岬灯台開設130年』希望に輝く新春を迎えて、町民の皆さんのご多幸とご健勝を心から祈念し、年頭のご挨拶といたします。

2018年 新年おめ



迎春

「安心・安全なまちづくりをめざして」

積丹町議会議長 山本俊三

新年あけましておめでとうございます。

町民の皆さまにおかれましては、希望に満ちた平成30年の新春を晴れやかに迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

年頭にあたり、積丹町議会を代表しまして謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

皆さま方には日頃から町議会に対し深いご理解とご協力を賜りまして、心からお礼を申し上げます。

昨年、9月の改選後の臨時会において議長の要職に就任し、身に余る光栄であり、改めて責任の重大さを痛感しております。

私は、この町の子供からお年寄りまでが、この町に生まれてよかった、住んでよかったと実感できるまちづくりのために精進してまいりたいと考えております。

振り返ってみますと、昨年も大雨災害の多い年だったように感じております。7月には九州北部に降り続いた記録的な暴雨が「平成29年7月九州北部豪雨」と命名され、河川の氾濫、土砂崩れの発生など甚大

な被害をもたらし、その後においても全国各地で、気象庁の記録的短時間大雨情報が発表され、10月には2週連続で台風が上陸するという自然災害の多い一年になりました。

さて、本町におきましては、町の玄関口であります美国橋が10月末に供用開始されました。

美国川河川改修事業の早期完成を目指し、一日でも早く町民の皆さまが安心して安全な生活ができるよう願うとともに、河川改修事業を核とした新しいまちづくりへの展開に期待を寄せているところであり、ます。

新たな年を迎え、町議会といたしましても、町民に身近で信頼いただける議会運営に全力で傾注する覚悟であります。

どうか、これからも積丹町議会に対しまして力強いご支援、ご協力をお願い申し上げますとともに、皆さまのご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。新年にあたってのご挨拶とさせていただきます。